

護衛艦「かが」艦上での 安倍内閣総理大臣訓示

編集委…本稿は、令和最初の国賓であるトランプ米国大統領と共に、護衛艦「かが」を視察した安倍内閣総理大臣が、日米の隊員を前に行った訓示である。官邸HPから引用した。

本日は、トランプ大統領と共に、自衛隊、米軍の諸君の勇姿に接する機会を得たことを、心からうれしく思います。

日米両国の首脳がそろって、自衛隊、米軍を激励するのは、史上初めてのことであります。日米同盟は、私とトランプ大統領の下で、これまでになく強固なものとなった。この「かが」の艦上に、我々が、並んで立っていることが、そのあかしであります。

トランプ大統領、あなたの友情に心から感謝します。そして、日本の自衛隊と米軍が、今、私たちと同様、深い友情で結ばれていることを、共に喜び合いたいと思います。

インド・太平洋を自由で開かれたものにし、地域の平和と繁栄の礎としなければなりません。その、揺るぎない意志をここに立つ私たち全員が、完全に

共有します。

この護衛艦「かが」は、昨年、西太平洋からインド洋に及ぶ広大な海において、米海軍と密接に連携しながら、地域の海軍との協力を深めました。

今後、本艦を改修し、STOVL（短距離離陸・垂着陸）戦闘機を搭載することで、我が国と地域の平和と安定に一層寄与していきます。地域の公共財としての日米同盟の更なる強化に向けて、日本は、しっかりとその役割を果たしていく。これからも、不断の努力を重ねていく考えです。

もとより、強固な日米同盟は、日米の隊員一人一人の努力によって支えられています。

自衛隊の諸君、昼夜を分かたず、自由で平和な海を守り続ける諸君を、私は、誇りに思います。

祖国から遠く離れた地で、我が国と地域の平和と安全を守り、日米同盟の抑止力を高める在日米軍の皆さん、そして、その最高司令官であるトランプ大統領に、敬意を表するとともに、改めて感謝を申し上げたいと思います。

地域を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中であって、平和と安定を守るとりでたる日米隊員諸君の、今後ますますの活躍を大いに期待しています。令和元年5月28日 自衛隊最高指揮官